

RPおおいた

2026年4月 発行 NO.27



若葉の候、会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。JRPS 大分も新年度を迎え新規一転交流会に、イベントにと、活動を始めました。

特に今年からは若い人の知恵と力を借りて、よりよい活動内容にしたいと、若手会員さんの御協力をお願いし、会員の皆が楽しく参加出来る企画を立て

有意義な一年になればと思います。

会の活動に御意見・ご要望があれば、会長までご一報頂ければ幸甚です。どうぞ宜しくお願いいたします。

会長 渡辺 純

※・※

今回も声の会報誌を作成しましたので、聞いて頂ければと思います。

※・※

2026年1月17日(土)新年会 in 大分

今年もつつがなく新年を迎えられ、新たな気持ちで健康に過ごす為、景気よく美味しいお酒と食事でお祝いです。

参加者は20名ほど。今年はちょっとおしゃれなお店、トキハ会館ご近所の和食ダイニング牧さんでの会食となりました。

今回はお酒を飲む人は呑兵衛同士、食事をメインで楽しみたい人同士とお席を決めさせて頂いた為か、スムーズにそれぞれお楽しみ頂けたようです。

今年も渡辺会長の娘、石橋ご夫婦が徹底した下準備を下さいました。いつもありがとうございます。

普段なかなかお目にかかることのない会員さんなどもおいで頂きましたので、今回は最長在籍会員である高木さんの奥様に乾杯のご挨拶を頂きました。

今までより少し会費を奮発した為か、お料理もかなりグレードアップされて、美味しい品ばかりが並んでおりました。

次々に出される料理が美味しければお話も弾むもので、いつもよりにぎやかな歓声や様々な話題が、あちらこちらで繰り広げられていました。渡辺会長も待ちきれないと終始ご機嫌に、皆さんとお話しされていました。

宴会も中盤に差し掛かると、恒例の近況報告会です。年始めらしく学びや目指し、体や技術をきたえる抱負が話題になっていました。前向きなものが多く障害があっても、楽しんでいこうという意気込みが凄かったですね。

初めて参加された会員さんも、この会は明るくて楽しいと言って下さいました。最高の誉め言葉です。

後半は企画によるお楽しみイベント開催。西日本公式宝くじを、籤運とは関係ないジャンケン大会で手に入れるという、初の試みです。当たれば億万長者と言う触れ込みですが、買った人の籤運にも左右されるという面白いお話でもあります。獲得者様、結果報告を楽しみにしております。

今年の新年会メニューは、三種の刺身、レンコンの酢の物、自家製手作り豆腐、すき焼き、焼き魚、揚げ魚、ベリーのケーキでした。

鯛茶漬けとお椀そばの写真は、撮り忘れてしまいました。今回の和食ダイニング牧さんは、来年の新年会でもお世話になりたいとの希望が多かったので、また美味しいお料理を頂けるかもしれません。ぜひご参加下さいますようお願いいたします。





2月28日(土)視覚障害者向け避難所体験と講習会

in 大分中央公民館市民体育

最近では避難所へ行くような災害も、時々起こるようになってきました。いざという時にしり込みしないよう、どんな感じの場所なのかを知っておけば、一時避難するのか在宅避難にするかを選択できるようになります。

今回の講習会では、大分市の職員の方々や神屋先生のご協力により、避難の現状を学び、視覚障害者こそその対応を考える時間となりました。参加者は30人ほどでした。

神屋先生のお話は、参加者の具体的な家での備えを述べてもらう事から始まりました。皆さんなかなか細々としたものは用意されているようないような報告でした。先生に指摘されるまで気づきませんでした。常備薬のストックを用意するというのは盲点でした。そこから東日本、熊本、能登、佐賀関と各地避難所をめぐる支援してこられた経験に基づいたお話、地域の住人とのつながりを持つ為にも避難訓練への参加の重要性、市や町の視覚障害者への取り組みなどもお話下さいました。

避難所も近代になるほど快適に過ごせるように支援者側のアップデートが進んでいる事を知りました。それでも避難所よりは自宅が無事なら在宅避難の選択もあるので、食べ物や水だけではなく薬のローリングストック常備の勧めも頂きました。

大分市防災土企画課からも講演において頂き、被害を極力抑える事を教えて頂きました。ここでも地域とのつながり、在宅避難の為の備蓄の勧め、周囲の情報の収集が大事だと言います。枕元に懐中電灯と靴を置くなら、地震の揺れでどこかへ行かないように袋に入れて結び付けておくというのは、目からウロコのお話でした。

避難時の不安についても役所へ相談を勧め、避難行動要支援者制度への登録もご紹介下さいました。最後に災害時の避難場所や備えは、出来る限り家族で話し合っ決めておく事をおっしゃっていました。

後半は実際にパールライス (乾燥米)に水を入れ、食べられるまでふやけるのを待つ間に、段ボールベッドやテントのような個室、簡易トイレの使用説明を聞き実際に座ってみる経験をしました。

ベッドは思ったより頑丈で、渡辺会長が寝てもびくともしませんでした。個室テントはシングルベッド2個が余裕で並ぶ広さがあり、床には薄いクッション材使用で、ある会員さんは割と快適と言って寝転がっていました。

簡易トイレは安いものだと、体重をかけて座るのが壊れそうで不安という意見がありました。猫を飼っている参加者は、簡易トイレに使う薬剤は猫砂で良いのではと笑える意見も出ました。トイレを使用する時用の小さいけれど背の高いテントまであって、これはキャンプでも使えないかなと考えてしまいました。備蓄の参考になればと、神屋先生や結香さんが色々な市販品も展示紹介していました。

これからも防災避難勉強会を何度か企画していく予定でありますので、生き残るためにもご家族ともに参加して頂き学んでいきましょう。





🌸 🌸 3月 14 日(土)2025 年度役員会 🌸 🌸

今年も役員会を開催です。来年に向け今年もろもろの反省会と、
催しのアイデアを話し合いました。

役員の高齢化も踏まえ、来年度は色々と若手へ移行していければとの話も出ました。若手の皆様、宜しくお願いいたします。



